

大泉町教育委員会議録

1 日 時 令和7年9月24日(水) 午後1時30分から午後2時56分まで

2 出席者

福田教育長、曾根委員、秩父委員、大塚委員、大野委員

3 出席職員

堀本教育部長、久保田教育管理課長、岡田教育指導課長、齊藤こども課長、
初谷生涯学習課長、内田書記

4 傍聴人

なし

5 報告及び議事、協議事項

日程第2 教育長報告

- (1) 教育長月間報告
- (2) 令和7年第6回大泉町議会定例会について
- (3) 全国学力・学習状況調査について
- (4) 町教育委員会後援事業について
- (5) その他報告事項

日程第3 附議事項

議案第23号 大泉町教育委員会事務局組織に関する規則の一部を改正する規則
について

議案第24号 町教育委員会事務局組織の人事異動について

その他

- (1) 公民館南別館の今後の在り方について

6 議事内容

福田教育長 皆さん、こんにちは。

本日はお忙しい中、大泉町教育委員会議にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。
ございます。

秋の彼岸を迎え、昔から暑さ寒さも彼岸までと申しますように、だいぶ朝晩は涼しく
なり、過ごしやすくなってきたかと思います。

ちなみに「彼岸」という言葉は「向こう岸」の世界を指す仏教用語のようです。

私ごとではありますが、両親のお墓にお参りし、先祖の供養をしまりました。

それでは、ただいまより教育委員会議を開会いたします。

ここで先にお諮りしますが、本日の日程第3 附議事項の議案第24号につきま
しては、人事に関する事項となりますので、秘密会とさせていただきますがよろしい
でしょうか。

(了承)

はじめに、日程第1 前回会議録の承認について、事前に配布させていただきました会議録について、何かご意見等ございますでしょうか。

(なし)

ないようですので、令和7年8月19日の会議録のご署名を、曾根委員さんと大塚委員さんに、お願いいたします。

続きまして、日程第2 教育長報告に入ります。

(1) 教育長月間報告になります。

1点目です。9月定例議会が9月2日から17日間開催されました。主なものとしたしましては、令和6年度決算の認定、そして、一般質問の質疑応答が行われました。詳細につきましては、別途報告いたさせます。

2点目です。大泉町に関係したスポーツイベントの結果について、ご報告申し上げます。

SUBARU陸上競技部の三浦龍司選手が、9月15日に開催された東京2025世界陸上競技選手権大会3000m障害競技において、8分35秒90の記録で8位入賞を果たしました。

また、南中学校出身の諸田実咲選手が、女子棒高跳び予選において4m25をマークしましたが、決勝進出とはなりませんでした。後で知りましたが、3ヶ月前の大会で両手首骨折の怪我を乗り越えての出場だったとのことでした。

9月18日にクロアチアのザグレブで開催されましたレスリング世界選手権で、北中学校出身の石井亜海選手が女子63kg級で金メダルを獲得しました。

都市対抗野球では、SUBARUが準々決勝でヤマハと対戦しましたが4対5で破れ、準決勝進出とはなりませんでしたがベスト8と健闘しました。また、パナソニックは1回戦で王子と対戦し、6対7で惜敗となりました。

3点目です。町の行事として、今週末の27日に大泉まつりが開催されます。10月12日には、南中学校で町民体育祭が開催されます。委員の皆様にも、ご協力いただく場面が多くなると思いますが、よろしくお願いたします。

以上、教育長月間報告といたします。

続きまして、(2) 令和7年第6回大泉町議会定例会について、事務局より説明をお願いします。

堀本部長 (2) 令和7年第6回大泉町議会定例会につきまして、教育委員会に関わるものを中心に説明させていただきます。

別冊で机上配布いたしました資料の1ページをご覧ください。

日程第5、議案第37号、大泉町事務分掌条例の一部を改正する条例につきましては、町の行政機構の見直しを行うものでございます。こちらにつきましては、教育委員会関係では、6月に開催いたしました総合教育会議におきまして皆さまにご協議いただいた内容でございまして、こども課の子ども・子育て支援に関する事務を町長部局に新設いたします福祉子ども部に移管するものでございます。

2ページをお願いいたします。

日程第10、議案第42号、大泉町立小学校及び中学校の施設の一般開放に関する条例及び大泉町有料公園施設の管理に関する条例の一部を改正する条例につきまし

ては、8月の教育委員会議でご説明させていただいた通り、冬場の夜間に学校のナイター設備を使用できるようにする改正でございます。

続きまして、日程第14、議案第46号、令和7年度大泉町一般会計補正予算（第3号）につきましては、歳入歳出の総額を記載の通りにするものでございまして、教育委員会所管につきましては、8月の教育委員会議でご説明いたしました内容の通り決定をいただきました。

3ページをお願いいたします。

日程第19、議案第51号、令和6年度大泉町一般会計歳入歳出決算認定についてから、日程第24号、議案第56号、令和6年度大泉町公共下水道事業会計剰余金の処分及び決算認定については、令和6年度決算として一括上程となりまして、議会の各常任委員会の方で決算調査が行われました。

4ページをお願いいたします。

定例会2日目の9月4日につきましては、2名の議員が一般質問を行いました。

教育委員会に関する内容につきましては、概要説明を申し上げます。

議席5番の森麻映議員から2. 子育て世代への支援についてと、3. 子どもが安全に遊べる場所の確保について、質問をいただきました。

2. 子育て世代への支援について（1）病児・病後児保育の導入について、病児・病後児保育の現状と今後の対応についての質問がございました。

現状につきましては、町内に病児・病後児保育を実施している施設はございませんが、ファミリー・サポートセンターで病児・病後児を預かることができる体制を整えていることを答弁させていただきました。また、今後の対応につきましては、北保育園の建て替えに合わせまして検討を進めていることや、近隣の医療機関に併設されております施設で町民も利用可能な施設がございますので、そちらの周知を行っていく旨を答弁させていただきました。

続きまして、（2）小学校入学時の保護者負担の軽減につきましては、小学校入学時の経済的、時間的負担になっております算数セットの学校の備品化や入学準備品の早期周知、ホームページ掲載についての質問がございました。

算数セットにつきましては、学校で備品化できるように学校と連携しながら検討を進める旨を、また、入学準備品の早期周知につきましては、今年度からこの後10月に実施予定の就学时健康診断に合わせて周知できるよう学校と調整する旨を答弁いたしました。

3. 子どもが安全に遊べる場所の確保につきましては、猛暑の中、子どもたちが遊べる場所としまして、近隣の屋内遊戯施設との連携を検討してはどうかとのご質問をいただきました。

屋内の遊び場の状況といたしましては、現在、いずみの杜のプレイフロアの充実に向けて取りかかっていること、また、桐生市と深谷市にございますプール施設の利用補助を行っていることなどを答弁いたしました。

今後につきましては、来年度から猛暑の期間、試行的に屋内遊戯施設を利用する子どもたちへの利用補助を検討する旨を答弁いたしました。

以上が一般質問の概要でございます。

5 ページをお願いいたします。

定例会 3 日目の 9 月 18 日の概要につきましては、先程ご説明いたしました、令和 6 年度決算の認定の他、記載の通りでございます。

以上で、議会定例会の報告とさせていただきます。

福田教育長 説明が終わりましたが、ご質問等ございましたらお願いします。

(なし)

続きまして (3) 全国学力・学習状況調査について、事務局より説明をお願いいたします。

岡田課長 資料の 4 ページをお願いいたします。

令和 7 年 4 月 17 日に実施された全国学力・学習状況調査の結果についてご報告させていただきます。

調査教科につきましては、小学校は国語、算数、理科、中学校は国語、数学、理科の 3 教科ずつとなります。

「調査結果概要」につきましては、正答率の全国比は、小学校では、国語－4.8、算数－5.0、理科－7.1 で全て「低い」という結果となりましたが、昨年度または前回実施時と比べると向上は見られます。中学校では、国語－6.3、数学－10.3、理科は I R T スコアで－19、正答率で言うと－4.4 で全て「低い」という結果で、昨年度からも下がっておりますが、該当生徒達が 3 年前の小学校 6 年生に受けた時と比べると、国語と理科では向上が見られました。

続きまして、5 ページ、6 ページのグラフは小学校、11 ページ、12 ページは中学校の上位層、下位層の分布を表すグラフとなります。

各学校では、授業改善に取り組んでおりますが、学力テスト結果はこのような結果となっております。

続きまして、7 ページをお願いいたします。

小学校児童への質問紙調査の結果です。全国と比べて良かった項目が 3 項目、全国と比べて低かった項目が 21 項目となっております。

10 ページをお願いいたします。

考察についての概略を説明させていただきます。

学校での居場所につきましては、教師との関わりについて、昨年度に比べると良い傾向になっておりますが、友達との関係性や満足度は昨年度に比べ下がっている傾向となっております。教師と子どもとの関わりをさらに高めて行くと共に、子ども同士の関係性を高めて行くことが、子どもたちの居場所のある学校作りにつながると考えております。

I C T に関することにつきましては、授業中でも学校外でも勉強に I C T 機器を使用する児童の割合は高くなっており、使用は進んでおりますが、活用ができていると答えている児童の割合は全国に比べ低い傾向となっております。

学校での授業につきましては、ほとんどの教科の勉強で「勉強が好き」と肯定的に答えている児童の割合が全国よりも高い傾向が出ていますが、「最後まで粘り強く」「苦手なことにも挑戦する」という項目については低い傾向が出ており、非認知能

力的な部分を高めて行く必要性があると考えております。

13ページをお願いいたします。

中学校生徒の質問紙調査の結果です。

全国と比べて高かった項目が12項目、全国と比べて低かった項目が20項目となっています。

16ページをお願いいたします。

考察についての概略を説明させていただきます。

学習につきましては、「勉強が好き」と肯定的に答えている生徒の割合は、国語、数学は全国よりも低い傾向、理科は高い傾向が見られますが、学力はそれとはまた違う傾向を見せております。

また、家庭学習時間2時間以上の割合は全国よりかなり低く、さらに、学習塾や家庭教師等に教わっていないという割合は全国に比べてかなり高くなっております。このようなことから、学校の指導の中で、主体的に学習に取り組めるよう、授業改善をさらに進めていくことが必要であると考えております。

自己有用感と学校での居場所につきましては、小学校と同様に、学校生活の満足度や教師との関わりについて、全国より低いところもありますが、昨年度に比べると良い傾向になっています。「自分にはよいところがある」という自己肯定感の質問が低く、下がっているところもあります。教師と子どもたち、また、子どもたち同士の信頼関係のさらなる構築が必要だと考えます。学力もそうですが、まずは、子どもたちと関わり、しっかり向き合って、学級経営の充実、子どもたちの居場所のある学校作りを強く指導していきたいと考えております。

この結果が学校の全てではありませんが、今回の結果を真摯に受け止め、分析し、授業改善、児童生徒との関わりについて、改善を進めて行きたいと考えております。以上説明とさせていただきます。

以上でございます。

福田教育長 説明が終わりましたが、ご質問等ございましたらお願いします。

大野委員 学力調査の結果については県内の結果は前年の結果を下回っていると新聞にも掲載されていて、大泉町の結果について気になっていたところでしたので、このような結果になっていたことは非常に残念に感じました。

考察にもありましたので細かいことは控えますが、全国の平均と群馬県の平均については、多少の差はあるにしてもグラフに大きなずれはないように思います。その中で、全国と群馬県では同程度の平均にもかかわらず、大泉町だけ正答率が低い箇所があります。そういった箇所に対する改善が必要かなと思いました。

また、全国の平均正答率と都道府県別の公表について、今までは一度に全国の平均等が出ていたものが、公表の仕方が変わり3回目は秋くらいをめどに公表されると聞きました。町内の数値と合わせて県内の数値も見なければいけないのではと思いました。

これから各教科の調査がC B T (Computer Based Testing) に変わっていくことについて、来年度は英語、2027年度は全教科が変わるとするのは大泉町も同じでしょうか。それにあたり、全教科がC B T化されるとなると、今回の結果の中で心

配なことが、小学生について、
関心はあり使用しているがうまく活用ができていないという話もありましたので、この子どもたちが2027年のCBT化になった時に、勉強がわかっても使いこなせないといったことにならないように、小学生にも向き合っていただければと思います。

メンタルについて、先生に相談できますかの設問に対しての数値が毎年低く心配している中、少しではありますが改善されている傾向にありますので、子どもたちと向き合っていただける環境づくりをしていただきたいと思います。昨年も質問の仕方がと話があって、お互いの解釈の違いがあるとは思っていますが、数値が低いので解釈の違いだけなのか、環境に改善が必要なのか、そのあたりも調査していただければと思います。

質問の項目については町で変えられないとは思いますが、「同じ時間に起きていますか」「同じ時間に寝ていますか」について、数値が上がったり下がったりしています。例えば、「同じ時間に寝ていますか」については、今まで遅い時間に寝ていたのを早い時間に寝ようと思って良い意味で改善されたとしても「同じ時間に寝ていますか」についてはマイナスの評価になるのだとすると、この項目の意味があるのか疑問に思っています。

学力が低いことについて、動画やSNSの使用時間が長いことが問題視されている中で、同じ時間に寝ているか、同じ時間に起きているかというのは、数値が上がったから良いのか下がったから悪いのか、現状維持が全国比だから良いとなってしまうと思うのですが、子どもたちの中で改善していこうとしている場合もあります。動画やSNSにかかる時間を減らして勉強時間を増やしていかないと学力にも結果が繋がってこないと思いますので、このあたりのことについても向き合っていかなければならないのではと感じました。

今回CBTで取り組んだことは理科だと思いますが、通信環境については問題はなかったのでしょうか。また、2027年に向けて全教科が取り組まれるとなるとその際の通信環境も見ていかなければならないのかなと思いました。先生方も大変かと思いますが、子どもたちも少しでも早く環境に慣れて、2027年に全教科で取り組みということが決まっているのであれば、それに向けての取り組みが必要なのではと感じました。

岡田課長 いただいたご指摘について、しっかりと受け止め、学校にも伝えていきたいと思えます。

今後のタブレットを使用したテストにつきましては、現在、国と同じような形で町でも実施しておりますので、今後、国が移行する場合は、町も合わせて実施していきます。

通信環境につきましては、今回のテストで何かトラブルがあったということは聞いておりません。テストを実施する際は、実施前に必ず通信の事前調査を行っております。

全教科での実施となると負荷は大きくなると思いますが、今後も実施前に必ず通信の事前調査を行い、テストを実施することに影響の出ない環境を整えていきます。

- 福田教育長 他にご質問等ございましたらお願いいたします。
(なし)
続きまして、(4) 町教育委員会後援事業について、事務局より説明をお願いし
ます。
- 久保田課長 17ページをお願いいたします。
先月の教育委員会議以降、記載の4つの事業につきまして、教育委員会といたしま
して、後援を行いましたのでご報告申し上げます。
- 福田教育長 キッズマネースクールおみせやさんごっこの主催はどこでしょうか。
初谷課長 主催はキッズマネースクールアスエッジ校という一般の団体でございます。
参加者が、お店屋さんごっこを通じてお金の使い方を学ぶ内容となっております。
- 福田教育長 他にご質問等ございましたらお願いいたします。
(なし)
続きまして、(5) その他報告事項について、事務局から他に報告事項があればお
願いします。
- 齊藤課長 8月の本会議でもご報告を申し上げました子育て支援研修会の次回開催につきまし
て、本日配布させていただきました10月15日開催分のチラシをご覧ください。
10月開催につきましても、前回開催の7月と同様、洋泉興業大泉町文化むら小ホ
ールでの開催となります。
以上でございます。
- 福田教育長 説明が終わりましたがご質問等ございましたらお願いいたします。
(なし)
続きまして、日程第3 附議事項に入ります。
議案第23号 大泉町教育委員会事務局組織に関する規則の一部を改正する規則に
ついて、事務局より説明をお願いします。
- 久保田課長 18ページをお願いいたします。
議案第23号 大泉町教育委員会事務局組織に関する規則の一部を改正する規則に
ついてご説明いたします。
本議案につきましては、6月19日開催の総合教育会議においてご協議いただきま
した、子ども・子育てに関する事務を町長部局に移管することに関して教育委員会
組織の見直しを行うものでございます。先ほど、堀本部長よりご報告いたしました
とおり、9月定例会において、町の組織機構に関する見直しについて決定いただき
ましたので、それに合わせまして、教育委員会事務局組織につきましても見直しを
行おうとするものでございます。
21ページをお願いいたします。
今回の開催内容についての改正案が左側、現行については右側に記載しております。
第2条は、教育部内の組織について定めておりますが、現在の「こども課」を「教
育保育課」と名称変更するとともに、「教育保育係」の1係に見直しをしようとする
ものでございます。
続きまして第6条をお願いいたします。
分掌事務でございますが、表の右側、現行のこども課子育て支援係が担当しており

ます事務のうち、(4) 地域子育て支援センターに関する事、22ページになりますが、(5) ファミリー・サポート・センターに関する事の2項目を町長部局に移管いたしまして、それ以外の事務と、現行のこども課教育保育係が担当しております事務を、新組織である教育保育課教育保育係で担当してまいりたいと考えております。

なお、この事務局組織の見直しにつきましては、令和8年4月1日を予定しております。

以上で、説明とさせていただきます。

福田教育長 説明が終わりましたが、ご質問等ございましたらお願いします。

(なし)

ないようですので、議案第23号について、承認いただける方は挙手をお願いします。

(挙手全員)

挙手全員により、議案第23号は承認といたします。

福田教育長 続きまして、議案第24号に入りますが、議案第24号につきましては人事に関する事項となりますので、これより秘密会とさせていただきます。

(非公開)

ここで秘密会を終了いたします。

続きまして、日程第4 その他に入ります。

(1) 公民館南別館の今後の在り方について、事務局より説明をお願いします。

初谷課長 公民館南別館の今後の在り方についてご説明いたします。資料はございません。大泉町公民館南別館につきましては、平成21年度に開館いたしましたが、建物は昭和54年に建設され46年が経過し、外壁や内装、各種設備が老朽化しております。

引き続き、南別館を使用していくためには、設備の更新等多額の費用を要することが想定されるため町公民館と機能の集約を行い、廃止の方向で現在庁内会議で協議をしております。

なお、南別館は、計画期間が令和7年度から令和11年度の「大泉町公共施設個別施設計画」の中で、機能の集約、施設の廃止について検討となっており、実施計画では令和7年度に方針検討と決定をされております。

また、令和8年5月に予定されている新庁舎への移転ですが、移転対象職員は、町公民館内の公民館管理係を除く生涯学習課、保健福祉総合センター内の健康福祉部の全職員であり、該当職員の新庁舎への移転後、町公民館と保健福祉総合センターに空きスペースが生じるため、そのスペースに南別館を利用している各種団体の移転を行う見込みでございます。

以上、説明とさせていただきます。

福田教育長 説明が終わりましたが、ご質問等ございましたらお願いします。

(なし)

他に事務局から何かあればお願いいたします。

(なし)

教育委員さんから何かございますか。

曾根委員

2点質問があります。

1点目は教員免許状の確認方法についてです。先日、教員免許状の偽造のニュースがありました。群馬県では、以前は異動した時はコピーの提出だったものを原本の確認をするようになったと思います。また運転免許証についても原本を確認するようになったと思います。大泉町ではどのように行っているのかお聞きします。

2点目は高崎市の学校開放時間についてです。先日、教員OBの集まる中で高崎市は午前7時に学校を開放する時の対応は管理職が行うと聞きましたが、新聞報道では、対応は用務員が行うとなっていたと思います。管理職は勤務時間や超過時間はないのかといった意見もあります。高崎市が午前7時に学校を開放することについて、わかっていることがあれば教えていただければと思います。

岡田課長

教員免許状の確認について、新採用時には原本の確認を確実にしております。異動時は学校で確認をしコピーを取っていますが、原本を確認してコピーを取っているのかを学校に確認して後で報告させていただきたいと思います。

運転免許証については、1年に1回、原本を管理職が確認しております。

堀本部長

高崎市が午前7時に学校を開放することについて、子どもの朝の居場所の関係で、来年の4月から公仕が鍵を開け、その後は各学校での対応になる、公仕の時間外手当を準備して対応していくというものだったと記憶しております。

その後の報道で、高崎市の教職員組合と県の教職員組合が、「学校や教職員を疲弊させ、結果的に子どもにも不利益になる」として事業の撤回を求めたと報道されておりますが、その後の交渉結果等は不明でございます。それ以上のことは現段階では分からない状況でございます。

曾根委員

色々な考え方があるとは思いますが、公仕だけに子どもを預けることについては無理があると思います。子どもを学校に入れてその後どうするのか、責任問題はどうかといったところが心配です。結局、教員が対応しなければならないとなった場合、勤務時間をどうするか、管理職が対応するのが当然だとなった場合、まずまず管理職のなり手がなくなっていく。高崎市の校長会とも十分話し合いをして校長会も納得をしたとありますが、伝わってくる話と新聞報道が違うので気になり質問させていただきました。子どもは動き回ったりするので大変だろうとなり、教員が交代で対応しようとなってしまうことを教職員組合は心配しているのではと思いました。

高崎市の取り組みは全国で初めての取り組みのようでしたので、文科省がどのように判断するのか。

福田教育長

大泉町でも10月1日から西小で試行を始めるところです。児童館の指定管理を行っているところへ委託をしようと考えております。まずは1校で半年くらい試行をし、学校へ預けるということは、学校とも何らかの接点が出てくるため、課題を抽出し検討をしていこうとしているものです。

- 曾根委員 西小で試行を始めることは初めて聞いたように思います。
放課後子ども教室については、鍵の管理や出入口を別にする等の配慮がされていたのではと思います。
- 堀本部長 9月補正の説明の中でもお話させていただきました。
- 福田教育長 他に教育委員さんからご質問等ございますでしょうか。
- 大野委員 部活動の地域展開について、保護者が疑問に思うこと等の質問と回答が掲載される等のホームページが更新されていてわかりやすく良かったと思います。保護者へうまく伝わると良いと思いました。
掲載の仕方について、文章で細かく掲載されているのですが、前回の会議時に配布されたチラシ（案）のように見てわかるものが掲載されるとさらに伝わりやすいのではと感じました。QRコードを活用する方法も良いのではと思いました。
- 初谷課長 ホームページの掲載につきましては、先進地などを参考に、保護者が心配していると思われる疑問点等について現状の町の取り組みについて回答をさせていただいております。また、チラシ等のお話がありましたが、PDFファイルに加工し、町ホームページへ掲載を考えております。
- 福田教育長 他にご質問等ございましたらお願いします。
（なし）
それでは、以上で教育委員会議を閉会いたします。

上記会議録は、正確であると認めます。

令和7年10月27日

署名 教育長

署名 教育委員

署名 教育委員